

学 歌

作詞 安永 武頼  
作曲 都築 頼一 助

一 (郷土性を強調す)

万葉の 遠の朝廷と  
梅が香の かほる太宰府  
筑紫の州の わが母校

輝け 建学の理想

霊きはる 命かまけし

経世の道 朝 窮めむ

ここに在り われらわれら 日本経済大学  
学びの庭を 夕 語らむ

二 (東洋性を強調す)

脊振嶺を 雲の越えゆく

玄海の 汐路遙けし 大和島根のわが母校

高鳴れ 血潮はたぎる  
果てしなき 経済の道

究めて 往かむ 誠 あふるる

ここに在り われらわれら 日本経済大学  
東の空に 光かがよう

三 (世界性を強調す)

轟けり 世紀の響

濤寄する西海の丘

世界に臨む わが母校

起つべし 若人 われら

承け継がむ 先人の道

ここに在り われらわれら 日本経済大学  
東西 融和 要 とならむ  
太陽のごと 望み逞まし